

# 情報部 2013 年度総会資料

文責:有働孝士

情報部は、主に本会活動後の情報を収集し後の役に立てるよう蓄積・整理・提供する部門です。  
役員は、部長：有働孝士、副部長：木村直喜、筒井哲史（全3名）。

## 2012 年度総括（1 月～12 月）

### くまたか

現在の主要な活動は、本会公式ウェブサイト「くまたか」 <http://yacho.org/> の運営です。「くまたか」の主要な目的の一部は、観察情報・活動情報の収集と蓄積です。

一部ページの処理が重くなり、表示に時間がかかっていますので、今後、対策します。

- ・ 6 月 15 日 「くまたか」 50000 アクセス達成
- ・ 12 月 21 日 「くまたか」 60000 アクセス達成

### 筑豊野鳥観察サイト

本年は「くまたか」に新しいページ「筑豊野鳥観察サイト」を開きました。(2012 年 4 月 2 日)

野鳥の会の大切な活動のひとつとして、観察情報を収集し、蓄積していくことがあります。これは、「くまたか」の目的の一部でもあります。そこで、情報部では、区域特定の規格である「標準地域メッシュ」(次項「メッシュコード」参照)が JIS 規格で確定されたのを期に、本会独自の観察記録様式(別添参照)を策定し、観察情報を広く収集することとしました。

それがこの「筑豊野鳥観察サイト」事業です。幸い 11 名の方に自発的なご参加をいただき、非常に興味深い結果を得ています。この事業は、「珍鳥が出た!」といった一時的かつ特異な観察記録だけではなく、ごく普通の場所などで継続し、記録を蓄積していくことにより真価を高める仕組みです。

### メッシュコード

メッシュコードとは、国定の規格により一定の方法で全国を碁盤目状の区域に区切り、付されたコード番号のことです(別添資料参照)。このうち「3 次メッシュコード」は、1 辺が約 1km の矩形となり、区域として把握しやすい単位となることから、従来の場所指定である大字、町名、山河湖沼名等とともに、または単独で使用できる区域特定の仕組みです。「筑豊野鳥観察サイト」や一般の観察場所記録に使用します。

2012 年度の主な活動は、メッシュコード(標準地域メッシュ)を本会会員のみなさんになじんでいただき、活用していただく機会を広め、観察情報と結びつける準備的な広報活動の期間と考えました。「筑豊野鳥観察サイト」は、メッシュコード普及に格好の場となりました。新入会員の方には特にご協力いただき、また古参の会員方々にもある程度の浸透を図れたように思います。

「筑豊メッシュマップ」(印刷した地図集)を独自に作成し、本会事務所に常備しました。これは観察場所のメッシュコード同定を容易にするための地図集(Google Map)です。

「筑豊メッシュマップ」作成に先立ち、印刷原稿に PDF を作成しましたので、ご希望の会員には、メール(yachoc@gmail.com)にて送信できる体制ができました。

(筑豊地方の 3 次メッシュ総数は 1036。飯塚市柏の森本会事務所を含むメッシュコード 5030-3576)

### 筑豊野鳥アーカイブ

「筑豊野鳥アーカイブ 2012 年版」を発行しました。(2012 年 4 月 1 日)

「筑豊野鳥アーカイブ」は、現時点では、DVD1 枚に本会に関する全情報をデジタル・データとして収録し、後代に伝えようとする計画です。第 2 期となる本計画では、第 1 期の主要コン

テンツ「野鳥だより・筑豊」全バックナンバー(既刊号)に加え、本会発行の書籍3冊(いずれも絶版)「筑豊地方の野鳥分布図」(1987)、「ひこさんの鳥」(1995)、「筑豊の野鳥」(2007)の全ページをデジタルデータ(PDF)化し、「筑豊野鳥アーカイブ 2012年版」に追加・収録しました。

(ご希望の会員には、有償で配布しています。初めて購入の方は1000円、それ以外300円。情報部まで。)

## 2013年度方針(4月～3月)

### くまたか

今年度、運営上の予定は特にありません。

野鳥・植物を撮影される方は、「ギャラリー」をご利用ください。ギャラリーは、会員個人専用のページとなり、写真や文章をインターネットで発表することができます。面倒なページ構成等はサイト管理者にお任せいただき、インターネットから世界に公開しましょう。ブレ・ボケや枝かぶり写真でも、一期一会の貴重な記録・証拠写真です。「くまたか」から芸術性や撮影技能を求めることはありませんが、美しい良い写真はもちろん大歓迎です。

また、野鳥観察情報は、その場で記録や報告をしないと永遠に失われてしまいます。ぜひ「くまたか」[yachoc@gmail.com](mailto:yachoc@gmail.com)へご報告ください。

### 筑豊野鳥観察サイト

本総会で認可いただけたら、引き続き強く推進し、普及に努めます。

試行時期は参加状況の様子を見るために、積極的にはお誘いをしませんでした。新年度からなるべく多くの方にご参加いただくよう環境を整え、声かけなどしていきたいと思えます。ただし条件があり、本年度は、「観察記録のメール送信(携帯電話メール可)が可能な会員の方」に限ることとしています。

近年、スマートフォンの普及により、位置情報関連のアプリも容易に入手可能となりました。「標準地域メッシュ」のコード同定は若干煩わしいものでしたが、今後は比較的容易に手元で現在位置のメッシュコードを知ることができるよう、さらにインフラ整備が進むものと思えます。

(アンドロイド・スマートフォン用に無料の「NSDev Pocket メッシュコード」が利用可能です)

### メッシュコード

メッシュコードの普及・利用については、本年度も強く推進していきます。近年、このような地理的情報について、インターネットやスマートフォン等で環境が整いつつあり、今後さらに簡便な利用が可能となるでしょう。

### 「筑豊野鳥アーカイブ」発行

当初、年刊を目指しましたが、収録コンテンツがあまり見込めない場合は、年刊ペースでの発行を見送ることとします。よって、本年度の発行予定はありません。実は「筑豊野鳥アーカイブ」には、将来「くまたか」のスナップショット収録も予定しています。そうするとDVDでは容量不足ですので、ブルーレイ・ディスクも考慮し、将来はクラウドへの移行も視野に入れていきます。

### 筑豊野鳥リスト

筑豊地方で観察された野鳥全種を網羅したリストです。

懸案でしたが、今年度、現行化のための新版発行を予定しています。日本鳥類目録改訂第7版が発表されたので、種の記述配列をこれに合わせ、さらに情報部独自の収録基準を援用して作成するものとします。

(2013-01-07)